

本日の議論の進め方について

R8年1月22日（木）

福知山公立大学

地域経営学部 木村昭興

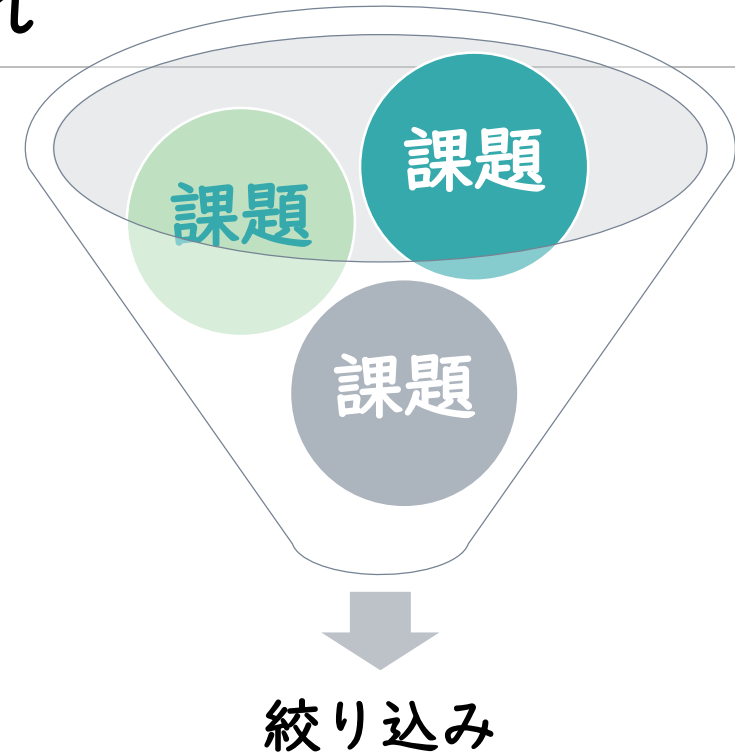
1 前回の議論を踏まえて、本日のながれ

テーマ

生活実感の洗い出し

現状から見える課題

どうあるべきかの検討



① どのような仕組みが必要

② 持続していくための工夫

2 前回の議論を踏まえて

提案No	内 容
提案 1	生活実感を入口に、地域のことを「自分事」として考えるきっかけとなる対話の場をつくろう
提案16	自動車がなくても、買い物や通院に支障なく生活ができる工夫、仕組みをつくろう
提案17	身近な場所に拠点をつくり、様々なサービスを「行く」から「来る」に転換しよう
提案18	医療や介護をできる限り必要とせず、健康で生き生きと長生きする「健康長寿」をめざそう

提案 1-1 前回の議論を踏まえて

提案1 生活実感を入口に、地域のことを「自分事」として考えるきっかけとなる**対話の場**をつくろう

【身近にある対話の場】

サロン、体操、移動販売、祭り、麻雀、グラウンドゴルフ、子ども会、防災イベント、美化作業、老人会など

【現状の課題】

- ・ サロンでは参加者の多くが女性に偏っている。
- ・ 会場に行くための移動手段がない方はどうすれば良いか。
- ・
- ・

【どのような場/どうすれば参加しやすいか】

提案 1 - 2 論点の整理

提案 1

生活実感を入力に、地域のことを「自分事」として考えるきっかけとなる**対話の場**をつくろう

- ① 参加者の偏り（参加者構成の課題）
- ② アクセス（物理的に参加できない課題）
- ③ 場の不足・場の性質の違い（地域差）
- ④ 周知・情報の届きにくさ（入口の課題）
- ⑤ 運営負担と担い手不足（継続性の課題）
- ⑥ 世代間交流機会の不足（中間層の不在）

提案16・17-1 前回の議論を踏まえて

提案16	自動車がなくとも、買い物や通院に支障なく生活ができる工夫、仕組みをつくろう
提案17	身近な場所に拠点をつくり、様々なサービスを「行く」から「来る」に転換しよう

【全体として見える意見】

観 点	内 容
① 輸送手段の再設計	バス・タクシー・スクールバス等の再活用と柔軟な仕組み化
② 地域の受け皿の強化	拠点の複合化・拠点 + 人の集まりセットの工夫
③ 民間との連携	委託・協働・支援モデルの検討
④ 情報の届き方	サービスがあるのに知られていない現状への対策
⑤ 生活者目線の運用	「病院+買い物」「移動+支援」など生活実感に即した工夫

提案16・17-2 論点の整理

提案16	自動車がなくとも、買い物や通院に支障なく生活ができる工夫、仕組みをつくろう
提案17	身近な場所に拠点をつくり、様々なサービスを「行く」から「来る」に転換しよう

➤ 「行政が担うこと」 「地域・住民ができること」

- ① 「地域としてできることはあるか？」
- ② 「この地域らしい解決のヒントは？」
- ③ 「できることから始めるとしたら？」



- A) 情報の届き方
- B) 移動の工夫
- C) 拠点の活用
- D) 担い手づくり

提案18-1 前回の議論を踏まえて

提案18	医療や介護をできる限り必要とせず、健康で生き生きと長生きする「健康長寿」をめざそう
------	---

【健康長寿の実現】

「運動面」「食生活」「交流」

【健康長寿を実現に向けた現状】

- ・ 高齢化で「動ける人」と「動けない人」の差が広がっている。
- ・ 冬場や雨の日は外にでにくく、活動量が落ちる。
- ・
- ・

【健康長寿を実現するアイデア】

提案 18-2 論点の整理

提案18 医療や介護をできる限り必要とせず、健康で生き生きと長生きする「健康長寿」をめざそう

- ① 健康行動の実践を支える「場」と「人」の仕掛け
- ② 「食」×「交流」による健康づくり
- ③ 高齢者が「活かされる」関係づくり
- ④ デジタルの活用と見守り

検討の方向性

第7回 自治基本条例推進委員会 (R8.1.22) Aグループ

提案1 生活実感を入口に、地域のことを「自分事」として考えるきっかけとなる対話の場をつくらう

➤ どの課題に焦点をあてるか？

- ・これまで話し合ってきた課題のなかで、「私たちが向き合いたい」と感じるものは？
- ・地域として取り組めそうなものは？（できることから始めるとしたら？）

➤ どんな仕組みがあれば、この課題を解決できるか？

- ・一時的なイベントでなく、「日常に根ざした」「仕組みとして続く」方法は？
- ・試しにやってみるとすると、だれが、どこで、どのように？
- ・多くの住民や地域が主体的に関われる形は？

➤ その仕組みを持続するために、どんな工夫が必要か？

- ・一時的なイベントでなく、「日常に根ざした」「仕組みとして続く」方法は？
- ・小さく始める、役割を分散する、やりすぎない....など

➤ どの課題に焦点をあてるか？

- ・これまで話し合ってきた課題のなかで「私たちが向き合いたい」と感じるものは？
- ・地域として取り組めそうなものは？（できることから始めるとしたら？）

➤ どんな仕組みがあれば、この課題を解決できるか？

- ・一時的なイベントでなく、「日常に根ざした」「仕組みとして続く」方法は？
- ・試しにやってみるとすると、だれが、どこで、どのように？
- ・多くの住民や地域が主体的に関われる形は？

➤ その仕組みを持続するために、どんな工夫が必要か？

- ・一時的なイベントでなく、「日常に根ざした」「仕組みとして続く」方法は？
- ・小さく始める、役割を分散する、やりすぎない....など